

まるもりまち ひっぽ
丸森町筆甫地区

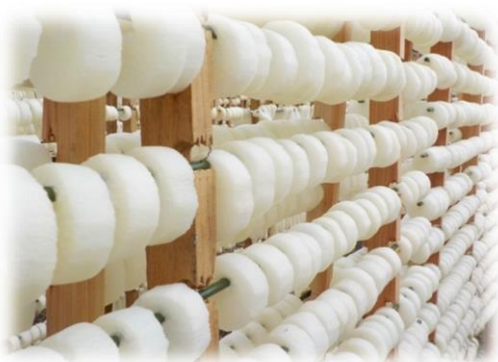
「ひっぽのお宝！へそ大根づくり体験」を実施しました

宮城県では、平成25年から平成28年までの4年間、中山間地域等の農作業を支援する「集落支援事業」として、大河原管内の七ヶ宿町干蒲・丸森町筆甫・丸森町耕野の3地区で援農ボランティア活動の支援を行ってきました。これまでの参加者は、4年間で延べ約600人となり、各地域では、この活動を通じて特産品の生産継続や、東日本大震災による風評被害の払拭に取り組んできました。

そして、平成29年度からは「農山村集落体制づくり支援事業」として活動地域を宮城県内全域に拡大し、中山間地域に限らず、農山村集落の活性化に向けて支援を行っています。

平成30年1月21日(日)、丸森町筆甫地区で「ひっぽのお宝！へそ大根づくり体験」が開催されました。

筆甫地区では、東日本大震災の影響で特産品の「へそ大根」の生産を一時中断していましたが、その復活を目標に、昨年からは本格的にへそ大根の生産を開始しました。今年12月には大根の収穫を援農ボランティアの方々にお手伝いいただきましたが、今回はその大根を使ってへそ大根づくりを行いました。当日は天気も良く、25名の参加者と一緒に楽しい体験会になりました。



まずは地域の方々をご紹介します。
今回は女性陣の指示で動きます！

～ へそ大根作り開始 ～

①大根を洗う

②皮をむく

③輪切り



④茹でる



⑤大根に竹を通す



⑥干す



ある程度乾燥してきたら、竹から外してさらに乾燥させます。へそ大根になるには、約1ヶ月もかかっています！



体験の後は、餅つき大会！
子どもから大人まで、筆甫の自然を満喫し、
楽しみながら参加していました。

今回は家族連れの参加者も多く、「子ども達に体験させたくて」という理由も多く聞きました。また、へそ大根が大好きで参加した方や、筆甫地区に移住を考えている方等、様々な方が参加し、地域内外の交流を通してさらに筆甫のファンになっているようでした。

体験の後は筆甫地区内を案内し、直売所「ふでいち」の建設予定地や、太陽光パネルを使ったひっぼ電力等も見学。特産品だけでなく、筆甫地区を知るとても良い機会になりました。



「ひっぼ」のへそ大根

この活動を機に、丸森町筆甫地区の自然や、農産物に関心を持っていただき、また足を運んでいただければ幸いです。

この活動は、「農山村集落体制づくり支援事業」として、宮城県も支援しています。宮城県ではこれからも農村集落や中山間地域の持続的発展を支援して参ります。

参加していただいた皆様、ありがとうございました。